

赤坂小学校



校章の由来

赤坂の地として有名な「ドウダンツツジ」と「宮路山」を校章に取り入れている。可憐なドウダンツツジの花に赤坂小の「赤」の字を重ね、伸びゆく若葉は手を広げた様を呈している。その後方に宮路山を配し、自然豊かな地で、のびのび育つ赤坂小の子をあらわしている。

- 1868 (明 1) 道齋館として近郷の子弟を薫陶(浄泉寺)
- 1869 (明 2) 修道館開校→(明 3)赤坂義校(正法寺)
- 1872 (明 5) 赤坂郷学校開校(平松彦十郎宅を借りる)
- 1874 (明 7) 赤坂学校(旧伝馬所)
- 1886 (明19) 尋常小学赤坂校となる
- 1892 (明25) 赤坂尋常小学校となる
- 1904 (明37) 木造2階建て校舎建設
- 1908 (明41) 赤坂尋常高等小学校となる
- 1915 (大 4) 校舎増築
- 1921 (大10) 校歌校旗制定
- 1936 (昭11) 校歌制定
- 1937 (昭12) 木造2階建てスレート8教室新築
- 1941 (昭16) 赤坂国民学校となる
- 1945 (昭20) 赤坂国民学校校舎を部隊使用(5月～)寺、八幡社、指浪工場で分散授業
- 1947 (昭22) 赤坂町立赤坂小学校となる 学校給食開始
- 1948 (昭23) 父母教師会結成
- 1953 (昭28) 学校林(イタチハギ)植林
- 1955 (昭30) 音羽町立赤坂小学校となる
- 1956 (昭31) 給食室の改造 完全給食実施
- 1960 (昭35) 赤坂小学校にプレハブ校舎2教室増築
- 1969 (昭44) 鉄筋2階建て新校舎完工 東名全面開通
- 1976 (昭51) 学級増によりプレハブ3教室増設
- 1980 (昭55) 赤坂小学校(東山)完工 プール、体育館竣工
- 1985 (昭60) 太陽の広場アスレチック工事開始
- 1995 (平 7) 運動場周辺への植栽
- 1996 (平 8) 岐阜県大垣市立赤坂小学校との交流開始
- 1999 (平11) 和太鼓奏取り組み開始
- 2008 (平20) 豊川市立赤坂小学校となる



正法寺山門 赤坂義校私塾としての学校



現在の校舎(昭和55年完工)

開校 明治5年9月26日



日本陣(平松邸)門
赤坂郷学校のちに 赤坂学校



校舎増築記念(大正4年)

校歌

1
仰げば 照りはゆ 宮路山
望めば 清き 音羽川
ああ 大地の恵み うけて
わが赤坂は 幸多し

2
星霜 移りて 年は逝き
人また 去りて 変わるも
ああ どうだんの 色のごと
赤きを誇れ 若人よ

3
朝な夕なに 学び舎の
理想に集う わが友よ
ああ 春秋を 倦まずして
わが赤坂の 名を挙げん



明治時代の校舎
赤坂尋常高等小学校第1回卒業生



昭和時代の校舎(昭和12年)



昭和39年全学級にテレビ設置



昭和43年 移転前校舎

宿場町として栄えた赤坂に明治元年、時の三河判事が私立「道齋館」を建てて近郷の子弟を薫陶したことから始まっている。その後、幾度かの移転や校名変更を経て現在にいたる歴史ある学校である。現在の場所には昭和55年に西浦から東山に校舎を移転、平成24年には開校140周年を迎えた。平成8年より同じ校名という縁から、旧中山道赤坂宿にある岐阜県大垣市立赤坂小学校と交流を続けている。



大垣赤坂小との交流



「赤坂の舞台」での和太鼓披露

「私たちの学び舎の歴史」学習会

浄泉寺や正法寺での学びが本校の始まりであること、戦時中は軍隊の駐屯に伴い、こうした寺や工場等で授業を行ったこと、先人の努力の下に校舎が建設されたことなど、本校の歴史を地域の方から学ぶことができ、貴重な時間となった。

